



発行：社会福祉法人 心聖会
 広報委員会
 発行責任者：吉村 優児
 URL <http://www.e-shinseikai.or.jp/>

(小池更生園)
 〒276-0001 千葉県八千代市小池393
 TEL 047(488)8222 FAX 047(488)8229

(作山更生園)
 〒276-0001 千葉県八千代市小池392
 TEL 047(488)8253 FAX 047(488)8263

経営理念

わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。

- ・障害のある人の人格と個性を尊重します。
- ・障害のある人が安心して豊かな地域生活を営めるよう支援します。
- ・障害のある人の喜びや悲しみを共感できる職員であることに努めます。



平成29年度新任職員

新年度のプレイボール!

例年に比べ開花がゆっくり進んだ今年の桜も辺りに桜色の絨毯を敷き詰め、いつの間にか若葉の頃に移ろいを見せ始めています。

心聖会においては、今秋に予定されている新事業所の開設に向け、鋭意準備を進めているところですが、一方、今年度も多数の新任職員を迎え入れることができました。学窓より初めて職に就かれた方や既に社会人として経験された方等それぞれではありますが、いづれにしてもこの1ヶ月間は満開の桜を楽しむ余裕はなかったことでしょう。

福祉現場においては、「担い手が確保できない」という状況が続く中で、どのようにして人材の定着を図り活用していくのかを組織全体で考える必要があります。

人にはそれぞれ異なる「強み」や「個性」があり、それを見出し発揮することで「人材」として花が開きます。「人が育つ環境」を創造することでいつか満開の花を咲かせてくれることを期待したいと思います。

理事長挨拶



会聖心 聖心
理事長 白鳥 征四郎

を馳せ、感謝し、これから果たすべき役割を再認識し、強く自覚していただくために賛辞を送り、表彰しているところでございます。そして、その思いや自覚といったものを整理することで、ご利用者への支援や関わりに生かされ、必ずや向上していくものだと捉えております。

4月25日は小池更生園の35周年開園記念日でございました。近隣住民の皆様や法人役員、関係諸機関の皆様、及びご家族の皆様には、永年に渡り、ご理解及びご支援を賜りまして厚く御礼を申し上げます。また、同様の障害福祉サービスを提供しております、他法人の皆様には状況に応じてお話しを伺ったり、ご教示頂くなどとして、今日を迎えられていることに深く感謝を申し上げます。一方で、この開園記念日に合わせて、当法人では5年、10年、20年と勤続年数が節目の年数となる職員を対象に、全職員を一同に会した場にて表彰しております。これは、永年に渡り障害福祉サービス従事者としての任務を全うしていく過程において敬意を表してのものと、これまで当法人運営に寄与してこられた多くの方々に思い

本年度は冒頭でも申し上げました通り、創設35周年を迎えておりますが、創設30周年の年度には定員20名のグループホームを開設させていただきました。特に節目の年に開設を計ったようなことではございませんが、地域の障害福祉の一拠点として、本年度10月頃に定員40名の生活介護事業所（通所）を、小池更生園から徒歩5分ほどのところに開設させていただく予定です。4月から建設が始まっておりまして、近隣住民の方々にご迷惑をお掛けすることがないように建設会社共々、進めて参りますが、今後とも、地域福祉と社会福祉法人に求められるニーズを地域と共有し地域支援に繋げていく役割を担い、実現に向けて法人運営を図ってまいりますので、ご理解及びご支援を賜りますようお願い申し上げます。

就任挨拶



小池更生園 生活支援課
課長 冨田 佳奈子

慌ただしく過ぎた昨年度末から

押し流されるように平成29年度がスタートし、気が付くと緑の眩しい季節となりました。4月より小池更生園生活支援課長の任に就き早1ヵ月が過ぎ、皆さまに温かいご指導をいただきながら業務にあたっています。

私が入職した平成15年は支援費制度が始まった年であり、社会福祉基礎構造改革という画期的な転換がいよいよ実質的に開始されるといふ期待に膨らんだ時期でした。措置から契約へ、サービス提供主体の多様化、意思の尊重等々、「これからはご利用者が主体となってサービスを選んでいく時代です」と声高々に叫ばれていました。学生としてそういった教えを受けていざ現場に入ってから14年が経ち、ご利用者を囲む環境はまだまだ届かないことも多々ありますが、

良い方向へ向かっていると実感しています。制度やそれに込められた思いが実現するには長い時間を要することを身を持って感じるとともに、その変化を体感できたことは素晴らしい経験だと思っています。そしてそれを踏み台に更なる変化・進化に貢献できるよう努力していきたいと思っております。

：と、大仰なことを書いてしまいました。毎日の生活に何か劇的なものを求めようとしているのではなく、繰り返し返されるささやかなことひとつひとつに楽しみを見出だし積み重ねていくことこそ大切だと思っております。食事をすること、お風呂に入ること、散歩をすること、そういったことをご利用者と一緒に大事にしたい、という思いが原動力です。

組織の中での役割が変わり自身の力不足を痛感し日々身の引き締まる思いですが、そんな中で支えとなるのはやはり支援員としてご利用者とただただ楽しく過ごした頃の思い出です。この支援員としての経験こそが私の強みと自負しそこから得たぶれない視点を持って進んでいきたいと思っております。

小池更生園便り

新任職員集中講座を受講して

小池更生園に配属された私達新人職員9名は、4月3日から5日にかけて新任職員集中講座を受けました。

実施内容は、職員の心得・求められる職員像、ヒヤリハットの意義などといったものでした。この中の「ヒヤリハット」についてですが、まず「ヒヤリハット」というのは、「ご利用者支援をする中で事故には至らなかつたものの、ヒヤリまたはハットとしたエピソードのこと」を言います。ここで印象に残ったのは、同じような「ヒヤリハット」300件が1件の重大な事故を暗示しているという事です。ヒヤリハットが毎月報告されるなかで、似たようなヒヤリハットがたくさんあるということは、そこに大きな危険が潜んでいる可能性があります。常に周囲の様子に気を配り、ご利用者が安心して生活できるように心掛けたいと思います。

(室内第1班 田村直毅)



イラストを使用して危険予知について学びました。

今回の集中講座では様々なことを学びましたが、特に印象に残っているのが危険予知の演習です。

数人でグループを作り1つのイラストを見て危険な場所を見つけてという演習でしたが、人によって着重点が全く違い1人だと気づかない危険な点も見つけることができました。これは仕事でも同じで、ご利用者の安全・安心を良い形で支援していくには多くの目で見ることや職員全員で協力して業務に取り組んでいくことが大切であると学びました。今回の講義では基本的なことを多く学べたので、それ自分の中にしっかり吸収し、小池更生園の職員としてご利用者・ご家族・地域住民の幸せを支援できる職員になれるようにこれから支援に取り組んでいきたいと思えます。

(室内第3班 大城玲奈)

私が感動した素晴らしい職員

当園では『私が感動した素晴らしい職員』と題して各々の職員が感じた「素晴らしいこと」や「感動したこと」を用紙に記入し提出することとしています。

『感動』とありますが、感動した出来事に限らず感謝や尊敬など幅広いテーマで実施しており、例えば『いつも玄関の掃除をありがとうございます。』といった感謝の気持ちや『いつも明るく元気に支援に取り組んでいて素晴らしい。見習いたいです。』といった尊敬の言葉などを集めています。掃除することや明るく元気に支援にあたることは当たり前前のことではありませんが、その当たり前前のことを職員同士で評価しあうことで職場の活性化にもつながります。

さらには他者の良い所を見つける事は重要な事。悪い所ばかりを見て評価するのではなく、その人の良い所を探し、伸ばしていく事は利用者支援においても重要になります。また良いところは自分に吸収する事で自分自身もレベルアップする事ができますし、自分にはない強みを

得ることもあるかもしれないですね。

そして提出してもらった用紙を集計し、毎月の職員会議日に票数が多い職員を表彰しています。月間最多得票の職員には施設長から直々に賞状が贈呈され、月々の票数を積み重ね、年間で最も多い票数を獲得した職員には年間表彰の賞状と共に『WKSS 2016』(WKSS=『私が感動した素晴らしい職員』の頭文字)が贈られます。2016年度は2名の職員がその称号を手に入れました。

『WKSS 2016』の証として名札に『☆』が付いていますので、小池更生園に来た際は是非探してみてくださいね☆



『WKSS2016』の称号を手にした職員の名札には☆マークが付いています！

作業班班長より

室内第1班 班長 佐久間悠

今年度の室内第1班は、「ご利用者1人1人の特性、得意な事を伸ばそう！」という言葉を入り口に、活動していききたいと考えています。

今年度は昨年度と違い、ご利用者が12人と少なくなりました。支援員がこれまで以上にご利用者1人1人と向き合う時間が増えるのではないかと感じています。その増えた時間を活かして、ご利用者の特性、得意な事を活かした活動を提供していきたいと考えています。

また、ご利用者の特性に合わせて、3つのグループに分けて3〜5人の少人数で活動をしていく形を考えています。少人数で活動することで支援員側もご利用者1人1人との関りが密になり、特性などに気づきやすくなると思います。1つの気づきや発見を支援員間で情報共有し、ご利用者の特性、得意な事を伸ばしていただけるよう1年間支援していきます。

室内第2班 班長 湯浅まみ

今年度の室内2班は「明るく元気な班」「進んで向かいたくなる作業場」を目指して活動していきます。

他の班との違いは、昨年とご利用者の顔ぶれが大きく変わらない点です。今までの活動で培ったチームワークを活かし、それぞれの役割を発揮できる場を多く作っていききたいと思っています。月1度みんなで作業場に壁面装飾を製作し、掲示します。園にお越しの際は見に来てください♪

ご利用者の強み、苦手なこと、理解を深め、1人1人にあつた作業内容を考案し、きめ細やかなサービスを提供していきたいと思っています。1年間よろしくお祈りします！



作業風景。ご利用者各々に合った作業を行っています。

こいけホーム

こいけ 壺番館



八千代新川沿い河津桜見物

平成29年3月4日に、八千代の道の駅に外出してきました。

八千代橋から阿宗橋の約4.6kmに渡り、新川千本桜「河津桜並木」を見に多くの地域の方もご来場されていました。

早春の風を受けながら、並木道を歩くのはとても心地よく、ご利用者の表情もにこやかなものでした。

散策を終えると、やちよ農業センターへと足を運び、コーヒーなどを飲みながら、観光案内チラシを手に取り、今年のこいけホーム1泊旅行に、思いを巡らせ、こんなところに行きたいなと、話されていました。

こいけ 式番館



清き一票を投じる

平成29年3月26日に、千葉県知事選挙が執り行われ、ご利用者数名が、雨天の中、傘を差しながら近くの投票所に足を運びました。自ら歩いて赴くことが難しい方には、職員が送迎を行い、選挙管理委員会の人に引き継ぎます。職員は、中には入れませんが、長年通っている投票所というところもあり、スムーズに投票する事が出来ていました。

自分の生活に身近な代表者を選び、皆さんの、新聞やテレビから得た知識などから、ご本人なりに考え、大変思いのこもった一票を投票されました。

作山更生園便り

余暇活動

充実した余暇への取り組み

余暇時間の充実とは、生活の質を上げて毎日の生活に潤いを与えることです。ご利用者の皆様が、興味関心の幅を広げ、日々を楽しみながら送って頂けるように様々な外出や活動を提供しています。

たりしています。また、活動では定期的にご利用者のお誕生会を開き、カラオケやピアノ鑑賞等を行なっています。

この余暇時間を通して自分以外の様々な生命と触れ合う事で、温もりや尊さを感じて豊かな感性を育み、他者を思いやる気持ちを培っています。今後もご利用者が豊かな生活を送れるように様々な活動を取り入れた支援に努めていきます。

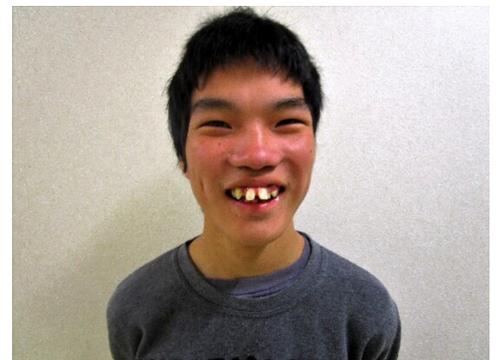
新しい出会い

新規入所者紹介

例えば、外出では動物園に行つて小動物と触れ合ったり、公園に行つて四季折々の景色を眺めながら皆さんと一緒に食事を摂つ

4月1日より齊藤一成さんが入所されました。お手伝いが大好きで気配り上手な一成さんは、いつもニコニコと笑顔を絶やさず、皆さんに挨拶をしています。

入浴は特に楽しみにされているようで、声を掛けると嬉しそうにお風呂場へ向かいます。また、作業は園芸班に所属しております。畑に行くとき種まきや草取りを一生懸命行なっています。しかし、そんな一成さんも作業に



作山更生園最年少の18歳です

必要な軍手を装着することは苦手なようです。夏の収穫時期には1人で軍手を装着し、育てた野菜を収穫することを目標に頑張っています。

園の仲間たちとも徐々に打ち解けてきた一成さん、これからどのような活躍を見せてくれるのでしょうか？今からとても楽しみです。

作業班紹介

作山更生園 手芸班

男性4名、女性5名の合計9名で活動を行っています。ご利用者一人ひとりの能力や特性に合わせた活動を提供し、編み物

(ひざ掛け、ランチョンマット、アクリルたわし)やお手玉、牛乳パックを使用したリサイクル作品などを作成しています。

また、クリスマスリースなど季節に合わせた作品作りも行っていきます。作成した作品は秋祭りなど園の行事や玄関、イオンバザー等で販売しています。バザーではご利用者に販売のお手伝いをさせていただくこともあり、自分で作った物が売れる喜びを体験してもらい「やる気」に繋がっています。

イオンバザーはイオン八千代緑が丘店、アゼリア広場にて毎月開催しておりますので、お越し頂ければ幸いです。よろしくお願致します。



森の遊園地にお出掛けしてきました



手芸班 作業風景
ここから商品が作り出されています

法人だより

こいけ障害者支援センター

平成29年10月開所(予定)に向け、ただいま建設中です。お問い合わせは小池更生園(担当・西澤)までお願いします。

【施設概要】

〈事業内容〉 生活介護

〈定員〉 40名

〈ご利用条件〉

18歳以上で障がい福祉サービス受給者証の支援区分が3以上(50歳以上は区分2以上)の方



こいけ障害者支援センター完成予想図

職員異動のお知らせ

〈小池更生園〉

太田 篤志(前・作山更生園)

〈作山更生園〉

柳沼 富美恵(前・小池更生園)

横尾 彰彦(前・小池更生園)

〈こいけホーム〉

小峯 雄二(前・小池更生園)

三橋 明美(前・作山更生園)

寄附のお礼

・八木武 様

・矢島陽一 様

・白井文代 様

・保護者会 様

保護者会より10人乗りのワゴン車を寄贈していただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。



保護者会寄贈のワゴン車

開園35周年



ご利用者の皆様と記念撮影

4月25日、小池更生園は35周年の開園記念日を迎えました。これもひとえに、ご利用者・ご家族の皆様をはじめ、地域の皆様・関係機関の皆様のお力添えのたまものと感謝しております。今後ともご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

編集後記

今年秋、こいけ障害者支援センターがオープンします。広報として、新しい事業所のことをどの様に紹介できるのか、今からとても楽しみです。今年度も、皆様に読んでいただける広報誌作りを目指していきますので、よろしくお願いします。(G)

今後の予定

- 6月
 - 11日 保護者会
 - 21・28日 小池更生園日帰り旅行
 - 27日 作山更生園日帰り旅行
- 7月
 - 6・7日 健康診断
 - 26・27日 こいけホーム一泊旅行

イオンバザー 小池みそ出展

赤みそ	1kg (ポリ袋入)	600円
	750g (ポリ容器)	500円
熟成みそ (2年熟成)	500g (ポリ容器)	400円
白味噌	500g (ポリ容器)	400円
合わせ味噌	1kg (ポリ袋入)	600円
	750g (ポリ容器)	500円

八千代緑ヶ丘店2階アゼリア広場 7月12日(水)